

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.23	5.21	5.17	m	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	88.3	86.5	85.5	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 公園や緑地、街路樹については、適切に維持管理を行い、市民が身近にふれあえる良質なみどりを保全しました。また、流山グリーンチェーン戦略により、商業施設など民間事業者により多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりを創出しました。	・現状 公園・緑地のほか、開発等により失われつつある樹林地等のみどりについて、適正な維持管理と各種制度・手法を活用して保全します。また、市民が気軽に利用・実感できるみどりを増やすとともに、街中のみどりを補います。
・評価 公園や緑地、街路樹のきめ細やかな維持管理や、流山市グリーンチェーン認定の取得促進により、より多くのみどりの保全、創出に努めました。	・課題 近年の異常気象や効率性を考慮した維持管理を行う必要があります。また、利用者の安全性や利便性・多様性に配慮するとともに、開発や区画整理事業の進捗に合わせた公園・緑地の整備を行う必要があります。
・改善点 公園や緑地、街路樹の維持管理については、作業工程等を見直し、より効果的なみどりの保全に努めました。また、流山市グリーンチェーン認定の取得促進に向け、事業者への丁寧な指導を行い、より多くのみどりの創出に努めました。	・取組内容 みどりの保全については、まちなかへの植栽や市民の森等の保全に向けた取り組みを進めます。また、みどりの創出については、区画整理事業の進捗に合わせた公園整備を進めるとともに、既存公園の遊具の安全性・利便性の向上に努めます。

みどりの保全

まちなか森づくり事業	まちなかのみどりを創出するため、計画的に街路樹植栽や公共スペースへの植栽を行うとともに、新規住宅や民間施設等への緑化啓発により「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、緑視率が高く、みどり豊かな街並みの形成に取り組めます。 ※本事業は、グリーンチェーン認定レベル2に該当する緑化率12%を目標としています。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算
みどりの課	10,505		8,591		3,526		16,300
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率(緑化面積/敷地面積×100%) (%)	19.09	19.53	12.00				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 まちなか森づくり事業として、小山小学校前の街路樹植栽を行いました。また南流山駅前広場、江戸川台西1丁目及び2丁目地先の市道などへ高木及び低木植栽を行いました。また、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行いました。				・現状 歩行者の安全性や緑視率向上に配慮し、街路樹の植栽可能なスペースに低木や高木を植栽します。また枯損木を確認して補植を行います。また、グリーンチェーン認定取得促進に向けた事業者への指導を行います。			
・評価 新たな街路樹の植栽と既存街路樹への補植を行い、緑視率の向上に努めました。また、グリーンチェーン認定による緑化率が目標値を上回り、まちなかの緑化が促進されました。				・課題 近年の異常気象や、維持管理面を考慮し、植栽の種類を選定する必要があります。			
・課題に対する改善点 街路樹の枯損木の植替えを計画的に行い、みどり豊かな街並みの形成に取り組めました。				・取組 令和5年度に引き続き、小山小学校前の街路樹植栽を行います。また、南流山地区街路樹の植栽工事を行います。また、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行います。			

みどりの保全

良質なみどりの拠点保全事業	土地所有者から借り受けている市民の森等について保全に向けた取り組みを進めるとともに、自然に触れながら散策等をできるよう、園路等の施設整備を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算
みどりの課	221,701		18,256		7,052		228,190
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
				公園緑地で憩い安らげている市民の割合 (%)		81.00	80.90
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 愛宕ふれあいの森の整備工事を行いました。また、市内の緑被率を測定し、みどりの現状把握を行いました。また、市民の森や借地公園の地権者と良好な関係を築きました。				・現状 市民の森の保全に取り組めます。また、市民の森や借地公園の地権者との話し合いを継続します。			
・評価 市民の森の整備により、市民がより安全に散策できるようになりました。				・課題 市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を継続する必要があります。			
・課題に対する改善点 市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を築くよう話し合いを行いました。				・取組 向小金ふれあい公園の改修工事及び三輪野山散策の森の整備工事を行います。また、市民の森の保全に向けた取り組みを進めていきます。			

みどりの保全

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	みどりの課	1,218		941	10,578	921	180	741
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	講習会の開催回数(回)	9	9	9	講習会への参加人数(人)	231	201	265
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 緑化に関する講習会を合計で9回開催しました。また、都市公園条例改正に伴い、意見を聴取するため、みどりの委員会を開催しました。4年ぶりとなるオープンガーデンの開催を支援しました。				・現状 市民と協働でみどりの維持管理を行います。また、緑化に関する講習会を開催し、市民の緑化意識の啓発を図ります。				
・評価 緑化に関する講習会を開催し、様々なかたちでみどりを担う人材の育成に努めました。また、オープンガーデンの支援により、多くの来訪者が市内に訪れました。				・課題 みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成と、里山保全ボランティアの定着が必要です。				
・課題に対する改善点 みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成と、新しい里山保全ボランティアの定着に向け、講習会の充実を図りました。				・取組 緑化に関する講習会を今年度も合計9回開催します。また、オープンガーデンの開催を支援します。				

みどりの創出

新たな賑わい空間創出事業	つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	みどりの課	98,455		361,100	14,104	30,428	23,300	7,128
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
					公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)	81.00	80.90	89.60
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 総合運動公園の再整備工事として、ローラースポーツ広場、バスケットボール広場が完成しました。また、南流山中央公園の再整備工事が完了しました。				・現状 土地区画整理事業の進捗に合わせて、良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせた公園施設整備を行っています。				
・評価 総合運動公園のローラースポーツ広場やバスケットボール広場、南流山中央公園において、多くの市民が利用し賑わいました。				・課題 土地区画整理事業の進捗により、公園緑地整備時期の変更に柔軟に対応するため、土地区画整理事業施行者と密に協議を行い、情報を共有する必要があります。				
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行者と密に協議を行い、土地区画整理事業の進捗に合わせた公園緑地整備時期の調整を行いました。				・取組 総合運動公園の西側駐車場整備工事、植栽工事を行います。また、総合運動公園における整備運営事業者(Park-PFI及び指定管理の事業の実施者)の募集を行い、公園全体の活性化につながる賑わいの創出に向けた準備を行います。				

みどりの創出

安心安全な公園づくり事業	既存公園の遊具を始めたとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	みどりの課	161,544		159,233	17,630	151,136	66,800	84,336
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	安全点検実施率(安全点検を実施した公園件数÷安全点検対象公園件数)(%)	100	100	100	公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)	81.00	80.90	89.60
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検を行い、不具合のあったものについては修繕を行いました。また、南流山1号公園のトイレ更新工事、加岸児童公園のトイレ改修工事を行いました。				・現状 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行っています。また、既存公園の遊具等の新設・更新を行っています。				
・評価 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の更新・補修を行い、公園利用者の安全性が確保できました。				・課題 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。				
・課題に対する改善点 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検結果、及び公園施設長寿命化計画に基づいて、計画的に更新・補修を行いました。				・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検を行います。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。また、公園維持管理システムを構築し、事務の効率化を図ります。				

生物多様性の保全・回復

生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性ながれやま戦略（第二期）に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	環境政策課	2,760		2,575		14,104	2,451	132	2,319
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	生物多様性啓発イベントの実施回数（回）	2	2	2	生物多様性啓発イベントの参加者数（人）		109	67	120
				グリーンウェイブ・「トラックの森づくり」事業による植樹本数（本）		175	118	180	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムの開催を通じて、幅広い世代に対して生物多様性の重要性について啓発を実施しました。				・現状 生物多様性の啓発を行う他、生物多様性ながれやま戦略の改定を進めます。					
・評価 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムを通じて、生物多様性の価値や重要性について環境学習を行い、特に小学生等の若い世代にも生物多様性を身近に感じてもらう機会を創出することができました。				・課題 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムの実施により、一定の効果を挙げる一方で、都市化を続ける市の姿勢とのバランスを考慮した周知が必要です。					
・課題に対する改善点 効果的な生物多様性の保全、豊かな自然環境の創出に向けた取り組みを検討する必要があったことから、モニタリング調査員の代表者と意見交換を行いました。				・取組 生物多様性ながれやま戦略の改定を通して、都市化を続ける本市ならではの生物多様性の周知、保全の取り組みを検討します。					

主管部局まちづくり推進部 施策の目的地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	90.3	91.2	91.2	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	75.5	74.5	74.0	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	63.5	62.4	65.1	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、千葉県と協力し、地権者の合意形成を図りました。また、江戸川台駅東口周辺地区再整備にあたっては、地元住民との合意形成を図りました。本市の景観形成への理解や興味を抱いていただけるよう、景観シンポジウムを開催する等、景観計画の周知・啓発に努めました。	・現状 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、主要となる幹線道路整備の促進を図っています。江戸川台駅東口周辺地区では、駅前広場における用地取得に向けた地権者合意形成を進めています。土地区画整理事業区域内を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間200件程度以上見込まれるため、景観計画に適合するよう指導を行っています。
・評価 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、地権者との交渉の際に、市も協議の場に同席するなどし、地権者に寄り添った対応を行いました。江戸川台駅東口周辺地区については、ジェトロ跡地の施設整備にあたり、市民検討会において活用方針や必要な機能などの意見をいただき、基本構想に反映させました。	・課題 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区では、用地の取得にあたり、関係権利者の理解を得る必要があります。良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き、流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。
・改善点 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。江戸川台駅東口周辺地区整備については、地元住民との合意形成を図りました。	・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き千葉県と協力し、地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区については、引き続き用地の取得にあたり丁寧な説明を行っていきます。本市の景観形成への理解や興味を抱いていただけるよう、引き続き景観計画の周知・啓発に努めます。

つくばエクスプレス沿線整備の促進

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理負担事業		県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
まちづくり推進課	919,296		625,132		7,052	875,536	841,600	33,936
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
面積ベース進捗率(%)	45.30	47.50	53.00	駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度(%)		30.1	40.0	42.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 主要となる幹線道路整備の促進を図りました。				・現状 千葉県が施行する運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。				
・評価 都市計画道路3・4・9号加市野谷線が全線開通しました。				・課題 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。				
・課題に対する改善点 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。				・取組 主要となる幹線道路を中心に整備の促進を図ります。				

市街地のまちづくり

建築確認台帳システム構築事業	昭和38年から平成28年までの紙の建築確認台帳及び建築計画概要書、約7万7千件分を電子化し、建築行政共用データベース及び統合型GISのシステムに組み込むことで、効率的な運用を行います。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与と費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
建築住宅課	0		0		14,104	112,870	112,870	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				建築計画概要書等の電子化件数(件)		-	-	29,000
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年度の事業開始に向けて、交付金の活用方法の確認、他市への視察等を行いました。				・現状 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書が紙で保管されています。				
・評価 令和6年度の事業開始に向けて、事前準備を進めました。なお、運用開始時に支障が無いよう懸念事項を洗い出す必要があります。				・課題 建築計画概要書等が紙ベースで保管されているため、窓口での証明書や写しの発行に相当の時間を要し、また、長年の保管により文書の劣化が進んでいます。				
・課題に対する改善点 他市への視察、交付金の活用方法を千葉県等と協議を実施しました。				・取組 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書に関する情報を電子化し、平成29年以降の電子化されたものと共に、地図情報システムで一元管理します。				

市街地のまちづくり

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業		駅利用に合った広場の改修やジェットロ跡地を活用した周辺公共施設の再配置など、再整備を行います。								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
まちづくり推進課		573, 572		27, 679		28, 208		215, 865	187, 004	28, 861
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
地元組織等のイベント実施回数(回)		6	7	8	駅周辺の住み心地の良さの満足度(%)			95. 65	96. 66	96. 66
					駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度(%)			33. 73	36. 57	37. 00
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 地元自治会や関係団体等で構成された「ジェットロ跡地活用に係る基本構想市民検討会」を実施しました。					・現状 駅前広場拡幅のために用地の取得が必要です。					
・評価 ジェットロ跡地の施設整備にあたり、市民検討会において活用方針や必要な機能などについて意見をいただきました。					・課題 用地の取得にあたり、関係権利者との理解を得る必要があります。					
・課題に対する改善点 市民検討会の座長や委員を中心に出的様々な意見の集約を図りました。					・取組 契約締結に向け、関係権利者へ丁寧な説明を行っていきます。					

景観形成の促進

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業		流山おおたかの森駅センター地区道路歩行者の快適性・回遊性を高めるため、道路改修工事を実施します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
まちづくり推進課	266,585		111,214		7,052	4,000	0	4,000
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
事業進捗率(事業費ベース：%)	6	55	56	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		84.3	82.7	85.5
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 交通規制に関する説明会を行い、合意形成を図り、市道29024号線の道路改修工事に着手しました。				・現状 周辺住民等への理解に努めながら、市道29024号線の完了に向けて整備を進めています。				
・評価 交通安全対策と歩行者の快適性・回遊性を高めることを両立するため、交通規制における合意形成を図りました。				・課題 市道29024号線一方通行化に伴う、歩行者や車両の交通影響等を把握する必要があります。				
・課題に対する改善点 説明会に加え、夜間工事や交通規制に伴う住民理解に努めました。				・取組 市道29024号線の工事完成と、市道40137整備に向けて、交通量調査や実態調査と関係機関協議を進めます。				

景観形成の促進

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	都市計画課	1,033		499	7,052	535	0	535
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	景観条例第11条に基づく事前協議件数(件)	443	227	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)	84.3	82.7	85.5
景観賞の応募件数(件)	-	19	-	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)	62.4	65.1	64.0	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 景観シンポジウムを開催し、市民に本市の景観形成について、理解や興味を抱いていただけるよう努めました。景観賞を選定し表彰を行いました。建築計画や開発計画における景観協議を行いました。				・現状 土地区画整理事業区域内を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間200件程度以上の事前協議が想定されます。				
・評価 景観シンポジウムに約150人が参加され、市内の良好な景観の周知を行うことができました。				・課題 良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き、流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 景観シンポジウムや景観賞により、流山市景観計画の周知や啓発を行うことができました。				・取組 建築計画や開発計画における景観協議に加え、景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。景観賞は隔年での選定のため、令和6年の募集はありません。				

景観形成の促進

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害防止のため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	都市計画課	2,702		2,249		7,052	2,577	2,547	30
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	173	171	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		84.3	82.7	85.5
	屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	572	629	500	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		62.4	65.1	64.0
	令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 条例の規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物等や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導しました。				・現状 本市の条例の規制について、多くの広告主及び広告事業者に、規制内容を周知することができています。					
・評価 条例に適合するよう是正され、市内の景観に配慮された広告物が掲出されてきました。				・課題 本市になじみの少ない広告事業者に、規制内容の周知が必要です。また、条例の規制に適合しない広告物等の是正が必要です。					
・課題に対する改善点 広告物ルールブックを活用し、多くの広告事業者に規制内容の周知をすることができました。特に、本市になじみの少ない広告事業者には、丁寧に規制内容を説明し、周知を行うことができました。				・取組 規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導してまいります。					

主管部局 土木部 施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	73.6	73.0	73.3	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	73.2	73.2	73.9	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進しました。交通の集中する交差点対策の推進を図りました。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めました。	・現状 人口増加等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。また、舗装の劣化の進行に注視する必要があります。
・評価 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成に努めました。	・課題 引き続き、歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。また、事業計画の周知を積極的に行い、工事エリアの安全対策を図る必要があります。
・改善点 安全で円滑に移動できる道路網が望まれることから、名都借跨線橋道路拡幅改良事業等の主要事業を計画的に実施することで、安全で円滑な道路網の整備に努めました。今後も、引き続き計画的な事業進捗に向けて努めていきます。	・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進します。交通の集中する交差点対策の推進を図ります。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めます。また、安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めます。

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路3・4・9号 南流山名都借線道路改良事業		都市計画道路3・4・9号南流山名都借線（市道106号線）において、千葉県が施行する運動公園周辺地区一体型特定土地地区画整理事業区域界から富士見橋までの区間、約400mの道路拡幅改良工事を行うことで、市内の円滑な移動や通学児童の安全が確保されます。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
道路建設課	192,373		159,744		2,600	15,210	14,035	1,175
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				整備率（％）＝執行済み事業費（円）÷全体事業費（円）×100		2.03	23.43	25.42
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 道路詳細設計及び主に道路予定地南側の用地買収、物件移転補償、分筆登記を実施しました。				・現状 道路予定地北側の用地買収、物件移転補償、分筆登記を進めます。				
・評価 実施する各業務において、沿線関係者の土地利用状況に配慮しながら進めました。				・課題 土地の利用状況を配慮する必要があります。				
・課題に対する改善点 詳細設計にて現場状況調査に基づいた工法検討を進めました。				・取組 地権者に現在の使用状況と今後の土地利用計画等を伺いながら進めます。				

円滑に移動できる道路整備

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長325m区間において、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
道路建設課	265,831		272,635		12,694	362,963	309,966	52,997
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				整備率(%)＝執行済み事業費(円)÷全体事業費(円)×100		49	55	72
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 向小金2丁目側、南柏駅方の車道橋の一部（橋桁部）が完成しました。「名都借跨線橋だより」を発行し、地域への周知を行いました。				・現状 向小金1丁目側、北小金駅方の仮設橋を撤去し、新設車道橋の工事に着手します。				
・評価 計画どおり工程を進捗しています。「名都借跨線橋だより」を発行し、工事の進捗状況を周知しました。				・課題 工事範囲が変わることによる通行止め等の交通規制が伴うため、周知及び安全対策が必要となっています。				
・課題に対する改善点 工事エリア内に、工事用信号機及び交通誘導員を配置し、安全対策を講じました。				・取組 案内看板の設置や「名都借跨線橋だより」の広報、工事説明会により周知し、現場状況を注視し、必要な対策を講じます。				

円滑に移動できる道路整備

区画道路改良事業	市内にある狭隘道路において、拡幅用地として寄附を受けた道路の整備や、その他の改良を行い、地域住民の通行の安全及び生活環境の向上に寄与するものです。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与と費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	道路建設課	236, 333		96, 213	10, 578	732, 480	605, 235	127, 245
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 西深井、東深井、三輪野山、中野久木、向小金1丁目、西初石2丁目、向小金2丁目、鰯ヶ崎各事業個所において、沿線関係者に事業説明、設計、測量等を進めました。				・現状 西深井、東深井、三輪野山、中野久木、向小金1丁目、西初石2丁目、向小金2丁目、鰯ヶ崎各事業個所において、沿線関係者に事業説明、設計、測量等を進めています。				
・評価 各地区ともに、沿線関係者への事業説明、設計測量等の進捗を図りました。				・課題 一部、沿線関係者との協議が整っていないことから、丁寧な対応が求められます。				
・課題に対する改善点 事業への理解や協力をいただくため、沿線関係者に対して丁寧な説明を行う等の対応を行いました。				・取組 事業目的の達成を目指すとともに、沿線関係者に配慮しながら事業を進めます。				

円滑に移動できる道路整備

東小学校前通学路道路拡幅整備事業	東小学校の通学路として安全を確保するため、歩道幅員を拡幅し、歩行者の通行に配慮した道路整備を提供するものです。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	道路建設課	26,850		3,960	6,347	0	0	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
					整備率(%)＝執行済事業費(円)÷全体事業費(円)×100	67	68	71
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 歩行者の通行状況を的確に把握し、関係機関と必要な安全対策について検討・協議を行いました。					・現状 予備設計、関係機関との協議結果をもとに設計、測量等を進めています。			
・評価 沿線関係者に事業概要を説明し、事業の実施に対して概ねの理解を得ました。					・課題 引き続き、沿線関係者に事業への協力を得るために丁寧な対応が求められます。			
・課題に対する改善点 横断歩道の新設等、安全対策について警察と協議を実施しました。					・取組 事業目的の達成を目指すとともに、沿線関係者に配慮しながら事業を進めます。			

円滑に移動できる道路整備

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	道路建設課	23,726		23,210		2,116	23,020	0	23,020
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
					整備率(%)＝市施工済延長(ｍ)÷市施工延長(ｍ)×100	9	17	30	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行いました。				・現状 自転車ネットワーク計画の内、令和5年度に約5.5kmを整備しました。					
・評価 近隣市の整備状況を考慮し、整備を進めました。				・課題 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握が必要です。					
・課題に対する改善点 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握に努めました。				・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行います。					

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路3・4・8号 美田駒木線道路改良事業	都市計画道路3・4・8号美田駒木線のうち、未整備である約100m区間において、道路の改良事業を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。									
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	道路建設課	37,907		32,741		2,203		189,763	178,900	10,863
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
					整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100			1	23	88
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組 当該区間において、用地買収、物件移転補償費を算定するため、物件調査、用地測量及び詳細設計を実施しました。				・現状 用地買収、物件移転補償を行います。						
・評価 隣接する都市計画道路3・4・19号大群美田線との事業進捗に配慮しながら進めました。				・課題 沿線権利者の土地の使用に配慮する必要があります。						
・課題に対する改善点 既に実施済みの都市計画道路3・4・19号大群美田線に関連する資料との整合を確認しながら実施しました。				・取組 土地の使用実態を権利者と調整しながら進めます。						

安全で快適な道路環境の確保

道路維持補修事業	道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	道路管理課	500,000		537,800		32,171	514,000	371,310	142,690
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
道路舗装補修延長(m)		4,701.1	6,141.0	7,700.0	情報提供および要望件数(件)		-	1,815	2,000
情報処理件数(件)		380	404	400	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合(%)		73.0	75.0	77.5
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施しました。					・現状 物流施設の増加により、流山市外からの流入交通量が増えたことから、舗装の劣化進行度が促進されています。				
・評価 舗装修繕計画に基づき、計画的に舗装の修繕を行いました。					・課題 重量車両の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行度の変化や現況の交通に耐えうる舗装の補修方法の検討が必要となります。				
・課題に対する改善点 道路破損等に関する情報を集積するため、道路維持管理システムを導入しました。					・取組 過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施します。				

安全で快適な道路環境の確保

橋りょう補修事業	流山市が管理する橋梁の維持管理の適正管理に努め、通行の安全確保を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	道路管理課	141,499		62,883		23,558	17,470	16,384	1,086
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
橋りょう補修工事件数(件)		5	1	10					
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 日常点検を行うことで、顕在化していない不良箇所の早期発見に努めました。					・現状 定期的に法定点検を実施し、点検結果から橋りょう長寿命化計画を策定したのちに措置対象橋りょうの補修工事を実施しています。				
・評価 橋りょう長寿命化計画に基づいて、横断歩道橋の撤去工事を実施しました。					・課題 措置対象橋りょうの補修工事の実施率を向上させることが課題です。				
・課題に対する改善点 橋りょうの健全性を確保するため、橋りょう長寿命化計画を策定しました。					・取組 措置対象橋りょうの補修工事を実施します。				

主管部局 土木部 施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課） ※令和5年度実績については令和3年度の事故繰越で0.08Kmであるが、管理を県に保留しているため、0と記載。	15.1	15.3	15.3	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	→

令和5年度 of 取組みと評価・改善点	令和6年度 of 現状・課題・取組み
・取組内容 道路冠水対策として、江戸川台西、江戸川台東及び前ヶ崎地区の雨水排水施設を整備しました。	・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所 の解消が必要です。
・評価 前ヶ崎地区の雨水排水施設の整備が完了しました。	・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。
・改善点 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。	・取組内容 道路冠水対策として、おおたかの森西地区、こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備します。

雨水排水施設の整備

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
下水道建設課	11,000	10,699		14,104	135,600	135,600	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
各年度の整備面積 (ha)	0.12	-	0.51				
令和5年度 of 取組みと評価・改善点				令和6年度 of 現状・課題・取組み			
・取組 市から県に委託していた雨水事業を直接市が行えるよう基本協定を新たに締結し、地区内の雨水整備工事は市が発注しました。				・現状 予定している雨水事業において、土地区画整理事業施行区域内での関係地権者等の調整があり予定通り進みません。			
・評価 前年度からの繰越事業により、今年度の工事がありませんでしたが、来年度に向け、設計業務を行いました。				・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道（雨水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。			
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道（雨水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けるので、県との連絡調整を密に行いました。				・取組 土地区画整理事業施行者である千葉県と連絡調整を行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。			

雨水排水施設の整備

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又はおそれのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 令和6年度 排水管整備（おおたかの森西）等 令和7年度 排水管整備（長崎）等 令和8年度 排水管整備等						
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
河川課	117,220	105,109		11,284	142,010	117,600	24,410
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
道路冠水対策に関する工事件数（件）	3	4	3	内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）	-	-	-
令和5年度 of 取組みと評価・改善点				令和6年度 of 現状・課題・取組み			
・取組 道路冠水対策として、江戸川台西、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備しました。				・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所 の解消が必要です。			
・評価 前ヶ崎地区の雨水排水施設の整備が完了しました。				・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。			
・課題に対する改善点 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。				・取組 道路冠水対策として、おおたかの森西地区、こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備します。			

雨水排水施設の整備

流山排水機場改修事業	流山排水機場の排水能力を最大限活用できる施設改修を行います。 令和4年度 商用電源予備ルートの確保 令和5年度 商用電源予備ルートの確保、排水機場内の電気施設改修 令和6年度 除塵機の塗装工事								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	河川課	60,400		39,204		7,052	15,372	0	15,372
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	施設改修工事の件数(件)	1	1	1	工事の進捗率(%)		100	100	100
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 電気事業者と協議を進め電気施設の改修工事を行いました。					・現状 施設の老朽化が進んでいます。				
・評価 商用電源予備ルートを確保し排水機場の維持管理に努めました。					・課題 更新時期や整備補修・更新費用等の平準化・最小化を図るため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的・効率的な維持管理が必要です。				
・課題に対する改善点 停電時の排水機場の運転について課題がありましたが、令和5年度に予備電源ルートを確保することで停電時も排水機場の運転が可能となりました。					・取組 除塵機の塗装工事を行います。				

河川環境の整備

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 令和5年度 修繕工事等 令和6年度 修繕工事等 令和7年度 修繕工事等							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
河川課	45,189		27,432		4,937	27,578	1,800	25,778
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
河川施設の維持補修に関する工事件数(件)	2	2	3	憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合(%)		81.6	81.9	82.0
維持管理システム導入による情報処理達成件数(件)	-	-	85	維持管理システム導入による平均対応日数(日)		-	-	7
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 効率的な補修を行い、水路や河川施設の適切な機能維持に努めました。				・現状 職員によるパトロールや施設点検により、河川施設の老朽箇所の早期発見に努めます。なお、活動指標及び成果指標に関連する維持管理システムについては令和6年度に導入します。				
・評価 各樋管の防護柵の補修を実施し、施設の破損等に起因した転落事故を未然に防ぐことができました。				・課題 河川施設の老朽化による補修の優先度を見極め、効率的に補修を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応することができました。				・取組 引き続き効率的な補修を行い、河川施設の適切な管理に努めます。				

河川環境の整備

利根運河エコパーク関連事業	利根運河の水質改善や利用者の利便性向上のため、河川空間を整備します。 令和5年度 飛び石橋とトイレ整備などの設計 令和6年度 飛び石橋とトイレ整備などの工事								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	河川課	2,800		6,710		3,526	58,410	45,600	12,810
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	事業に関する設計及び工事件数(件)	-	1	2	工事の進捗率(%)		-	-	100
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 飛び石橋及びトイレ整備の設計を行いました。				・現状 利根運河の利便性向上のため、飛び石橋及びトイレの設置工事を行います。					
・評価 市民の皆様の憩いの場となる、飛び石橋及びトイレの設計が完了しました。				・課題 利根運河の利便施設の安全性及び景観の配慮に努めます。					
・課題に対する改善点 利根運河の管理者である国土交通省江戸川河川事務所と適宜協議を進めました。				・取組 利根運河利用者及び近隣住民に配慮し、皆様の憩いの場となる水辺空間を創出します。					

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 流山市下水道事業経営戦略の見直しに着手しました。約15haの公共下水道を計画的に整備しました。おおたかの森浄水場に配水池を1池増設する工事に着手しました。	・現状 流山市下水道事業経営戦略の見直しに取り組んでいます。公共下水道の普及率が約94％であり、令和6年度で概成する予定となっています。おおたかの森浄水場に配水池を1池増設します。
・評価 流山市下水道事業経営戦略の見直しについて、支出額に大きく影響する流域下水道維持管理負担金の単価改定が令和6年度に見込まれたことから、事業を繰越し、より精緻な見直しを行うこととしました。令和5年度の下水道整備が完了し、供用開始した面積は約29haとなりました。おおたかの森浄水場新設配水池築造工事に着手しました。	・課題 流山市下水道事業経営戦略の見直しは、令和5年度から取り組みを開始しましたが、令和6年度に予定されている流域下水道維持管理負担金の単価改定を見込んで見直しする必要があります。下水道未整備区域は、狹隘道路や埋設物の錯綜、鉄道や国道の占用条件等、現場条件が困難であり、下水道整備に期間を要します。おおたかの森浄水場には配水池が1池ありますが、安定供給や災害等のメンテナンスを考えると配水池の増設が必要となっています。
・改善点 流山市下水道事業経営戦略の見直しに、物価上昇分の反映について検討しました。下水道未整備区域は、狹隘道路や埋設物の錯綜、鉄道や国道の占用条件等、現場条件が困難であり、下水道整備に期間を要しましたが、関係機関と調整を図りました。おおたかの森浄水場の配水池は1池のため、配水池の増設工事に着手しました。	・取組内容 流山市下水道事業経営戦略を見直します。公共下水道を計画的に約20ha整備します。令和6年度の完成に向けておおたかの森浄水場新設配水池築造工事を推進します。

T X沿線整備地区配水管拡張事業	TX沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	水道工務課	236, 110		114, 620		7, 052	119, 975	107, 180	12, 795
	主な活動目標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	配水管布設延長 (m)	3, 312. 4	1, 319. 6	3, 906. 2	整備率 (%)		45. 4	47. 1	52. 0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和5年度は1, 319. 6mの工事を行いました。				・現状 令和5年度末の整備率が47. 1%です。					
・評価 令和5年度末の整備率が47. 1%になりました。				・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事の進捗に合わせながら、整備率の向上に努める必要があります。					
・課題に対する改善点 土地区画整理事業者と毎月調整会議を行い、連絡調整を密に行う等により、事業の進捗に努めました。				・取組 令和5年度の繰越工事と合わせ、令和6年度は3, 906. 2mの工事を行う予定です。					

老朽配水管等耐震化事業	配水管の耐用年数を50年と設定し、総延長約700kmある配水管を毎年2%ずつ更新し、耐震化率100%にすることを目標にしています。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	水道工務課	270,190		291,082		7,052	273,812	0	273,812
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	整備延長(㎡)	746.7	820.0	2,261.1	耐震管適合率(%)		62.8	63.1	65.1
					漏水発生件数(件)		291	354	300
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年度の繰越工事と合わせて、L=820.0mの老朽管改良工事を行いました。					・現状 令和5年度末の耐震性のある配水管の延長は、約446.9kmです。				
・評価 令和5年度末の耐震化率が63.1%になりました。					・課題 土地区画整理事業に伴う配水管拡張事業と並行して実施しているため、事業の進捗に遅れが生じています。				
・課題に対する改善点 管路更新計画に基づき、緊急性の高い路線から更新を行うことで、より効果的な耐震性の向上に努めました。					・取組 令和6年度は、L=2,261.1mの老朽管改良工事を行う予定です。				

安全な水道水の安定供給

主要配水管等耐震化事業	安全な水の安定供給のために、約50kmある主要配水管等を計画的に更新し、令和11年度までに耐震化率100%にすることを目標にしています。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	水道工務課	240, 348		342, 826		7, 052	227, 808	0	227, 808
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	整備延長 (m)	365	1, 236	916	耐震化適合率 (%)		54. 3	55. 0	57. 0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和4年度の繰越工事と合わせて、L=1, 236. 4mの主要管改良工事を行いました。				・現状 令和5年度末の耐震性のある主要配水管等の延長は、約27. 4kmです。					
・評価 令和5年度末の耐震化率が55. 0%になりました。				・課題 土地区画整理事業の延伸に伴い、事業の進捗に遅れが生じています。					
・課題に対する改善点 管路更新計画に基づき、緊急性の高い路線から更新を行うことで、より効果的な耐震性の向上に努めました。				・取組 令和6年度は、L=916. 4mの主要管改良工事を行う予定です。					

安全な水道水の安定供給

上下水道料金徴収等業務委託事業	水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者に委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	経営業務課	168, 168		168, 168		8, 463	168, 168	0	168, 168
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	給水契約件数(件)	88, 139	89, 453	91, 600	不納欠損処理件数：水道料金(件)		182	207	170
	下水道契約件数(件)	80, 763	82, 394	85, 500	不納欠損処理件数：下水道使用料(件)		148	174	150
	令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を行うと共に、包括委託している事業者と連携を密にし、上下水道料金の適正な徴収に努めました。				・現状 人口の増加や公共下水道の共用開始区域の拡大により、水栓契約件数や下水道使用者が増加しています。					
・評価 滞納者への取組及びスマホ決済サービスの浸透により収納率は向上しましたが、市外転居滞納者の収納が少なく、不納欠損処理件数は増加しました。				・課題 市外転居滞納者への督促、催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認について困難を極めています。					
・課題に対する改善点 滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を行いました。また、市外転居滞納者に対し、督促及び催促を行いました。				・取組 滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加することにより、過去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めます。					

安全な水道水の安定供給

浄水場更新事業		令和6年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
水道工務課	340, 000		197, 800		14, 104	806, 500	505, 200	301, 300
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
おおたかの森浄水場配水池有効容量(m3)	10, 500	10, 500	21, 000	配水池築造工事進捗率(%)		-	22.1	100.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 配水池の工事に着手しました。				・現状 昨年度から継続し工事を推進します。				
・評価 基礎杭の打込みが完了しました。				・課題 昨年度から引き続き、施工中の来庁者の安全に配慮する必要があります。				
・課題に対する改善点 施工中の来庁者の安全に配慮し、庁舎と施工エリアをバリケードで区分しました。				・取組 令和6年度の完成に向けて工事を推進します。				

計画的な下水道事業の推進

地区内污水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、污水管を整備します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	下水道建設課	339,800		123,900		14,104	265,700	265,700	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	各年度の整備面積 (ha)	3.56	4.97	19.09	下水道整備率 (%)		80.51	81.31	84.35
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 市から県に委託していた污水事業を直接市が行えるよう基本協定を新たに締結し、地区内の污水整備工事は市が発注しました。				・現状 土地区画整理事業施行区域内での関係地権者等の調整があり、予定通り進みません。					
・評価 前年度からの繰越事業により、今年度の工事は予定の半分以下でした。				・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（污水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。					
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（污水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、污水管整備に影響を受けるので、県との調整を行いました。				・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と連絡調整を密に行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。					

計画的な下水道事業の推進

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
下水道建設課		902, 805		464, 552		14, 104		778, 162	260, 000	518, 162
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
各年度の整備面積 (ha)		11. 30	19. 64	14. 66	公共下水道普及率 (%)			93. 20	93. 70	95. 20
各年度の整備延長 (m)		3, 930	3, 115	3, 113	公共下水道水洗化率 (%)			93. 90	93. 72	95. 90
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進しました。令和5年度工事を執行計画に沿って発注しました。					・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和6年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。					
・評価 令和5年度の公共下水道整備は、延長3, 115mで面積19. 6haを行いました。					・課題 令和5年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。					
・課題に対する改善点 関係機関（ガス等）の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができています。					・取組 令和6年度の公共下水道整備は、延長3, 113mで面積14. 66haを行います。					

計画的な下水道事業の推進

手賀沼流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
下水道建設課	495,722		343,100		10,578	435,317	128,000	307,317
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
各年度の整備面積 (ha)	12.30	9.51	5.55	公共下水道普及率 (%)		93.20	93.70	95.20
各年度の整備延長 (m)	3,240	2,428	1,647	公共下水道水洗化率 (%)		93.90	93.72	95.90
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進しました。令和5年度工事を執行計画に沿って発注しました。				・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和6年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。				
・評価 令和5年度の公共下水道整備は、延長2,428mで面積9.5haを行いました。				・課題 令和5年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。				
・課題に対する改善点 関係機関（ガス等）の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができています。				・取組 令和6年度の公共下水道整備は、延長1,647mで面積5.55haを行います。				

計画的な下水道事業の推進

浄化槽設置事業	浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
下水道建設課	87,850		68,300		5,928	72,700	42,700
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
合併処理浄化槽の転換基数(基)	21	50	50	利根運河地区の普及率(%)		34	42
合併処理浄化槽の設置残数(基)	721	666	616				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 「利根運河等水質改善モデル事業」として最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行いました。				・現状 汚水適正処理構想による浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽や汲み取り便所が約900基存在し、これらを合併処理浄化槽に転換する公共用水域の水質改善が急務となっています。			
・評価 目標である転換基数50基を達成しました。				・課題 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況です。			
・課題に対する改善点 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況から最大30万円を上乗せ補助することにより、転換基数の促進を図りました。				・取組 「利根運河等水質改善モデル事業(流山市浄化槽整備促進計画)」が2年目を迎え、継続して最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行います。			

計画的な下水道事業の推進

ストックマネジメント事業	下水道管路施設の計画的な維持管理、改築・更新を進めます。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
下水道建設課	147,695		23,390		8,253	186,500	185,000
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
点検延長(km)	-	5.25	6.00				
改築延長(km)	0.2	-	0.6				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 若葉台団地の改築工事を予定していました。				・現状 公共下水道の管路総延長は、約590Kmとなっています。50年以上経過した下水道管路は、旧コミュニティ・プラント整備地区となっています。			
・評価 国庫補助金の内示減を受け、カメラ調査の実施となり、改築工事は行いませんでした。				・課題 老朽化した管路の割合が年々増加傾向にあります。			
・課題に対する改善点 老朽化した管路の割合が年々増加傾向にあり、計画的な点検・調査を行いました。				・取組 若葉台団地の改築工事を予定しています。			

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.5	83.9	81.0	%	↑
市内鉄道の駅1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2020（R2）年度、2021（R3）年度、2022（R4）年度	136,708※	152,367※	171,694※	人	↑
流山ぐりーんバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,045	2,287	2,643	人	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望書を提出しました。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備に着手するため、東武鉄道と施行協定を締結しました。流山ぐりーんバスについては、運行を継続するために運賃改定を実施したほか、収支率改善に向けた変更運行計画を作成しました。	・現状 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望を継続しています。初石駅については、東武鉄道と年度協定を締結し、引き続き自由通路及び橋上駅舎の整備工事を進めています。流山ぐりーんバスについては、平日の朝便及び土休日の朝夜便を減便するダイヤを4月から導入し、運行を継続しています。
・評価 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸を実現させるため、首都圏新都市鉄道への要望活動を継続したほか、東京都や中央区への情報収集と情報提供の働きかけにより、今後の要望活動が効果的なものとなるよう、沿線区市で意識の共有を図りました。初石駅については、東武鉄道と自由通路及び橋上駅舎の施行協定を締結し、工事着手に至りました。流山ぐりーんバスについては、安定した収入の確保により運行を継続させるため、運賃改定を実施しました。	・課題 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸の実現に向け、東京都や中央区と連携を図り、首都圏新都市鉄道への要望活動を効果的なものとするのが重要です。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備を推進するため、東武鉄道と工程管理を共有する等、綿密な連携が必要です。流山ぐりーんバスについては、運賃改定及び減便による収支率の変動に着目し、必要に応じ、運行継続に向けた迅速な需要確保策等の検討が必要です。
・改善点 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸の実現に向け、東京都や中央区に対し、都心部・臨海地域地下鉄新線構想の情報収集と情報提供の働きかけを行いました。初石駅については、東武鉄道と早期に施行協定を締結するため、協定締結までのスケジュール表を作成・共有し、迅速かつ円滑に協議を進めました。流山ぐりーんバスについては、安定的に収入を確保し運行が継続出来るよう、複数の運賃シミュレーションにより、運賃体系を検討しました。	・取組内容 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸の実現に向け沿線区市で協力し、東京都や中央区との情報交換等を積極的に実施するとともに、首都圏新都市鉄道に対する要望書の提出を継続します。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備を円滑に進めるため、東武鉄道と連携し計画的な工事進捗に努めます。流山ぐりーんバスについては、収支率を注視し、運行継続に向けた需要確保策を適宜検討します。

広域交通ネットワークの充実

TX東京駅延伸促進事業		つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
まちづくり推進課	0		0		2,116	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
TX沿線都市での会議等の開催回数（回）	7	6	6	便利だと感じている駅利用者の割合（％）		74.5	74.0	75.0
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員（人）（数値は、R3年度、R4年度）		306,000	349,000	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を通じ、車両編成8両化、東京駅延伸の実現に係る事業費や需要予測の調査実施、通学定期券の運賃引き下げを要望しました。				・現状 つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を毎年度開催し、首都圏新都市鉄道に対し要望活動を続けています。また、都心部・臨海地域地下鉄構想計画検討会の事務局である東京都や同構想に関する調査検討を実施している中央区と引き続き意見交換し、情報収集に努めています。				
・評価 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。				・課題 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。				
・課題に対する改善点 都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画検討会の事務局である東京都及び同構想に関する調査検討を実施している中央区と意見交換し、沿線区市で情報共有を図りました。				・取組 首都圏新都市鉄道に対し、都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画検討会の事務局である東京都及び同構想に関する調査検討を実施している中央区と連携を図り、速やかに事業費や事業予測等の調査を実施するよう、沿線市区とともに引き続き要望活動を行っていきます。				

広域交通ネットワークの充実

初石駅施設整備事業	東武野田線初石駅の利便性を向上させるため、自由通路及び橋上駅舎並びに駅前広場の整備を行います。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
まちづくり推進課	1,141,809		119,687		5,642	728,321	342,352	385,969
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
事業進捗率（事業費ベース：％）	3.7	7.2	73.0	便利だと感じている駅利用者の割合（％）		74.5	74.0	75.0
				初石駅の1日平均乗降人員（人）（数値はR3年度、R4年度）		16,437	17,628	-
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向け、東武鉄道と施行協定を締結しました。					・現状 自由通路及び橋上駅舎の工事を進めています。			
・評価 東武鉄道と施行協定を締結し、工事に着手しました。					・課題 自由通路及び橋上駅舎の供用に遅れが生じないよう、計画的に工事を進める必要があります。			
・課題に対する改善点 早期の施行協定締結に向け、東武鉄道と費用負担割合等の協議を計画的に複数回実施しました。					・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事を円滑に進めるため、東武鉄道と連携し綿密に工程管理を行います。			

広域交通ネットワークの充実

鉄道設備整備補助事業	流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいることから、流鉄による設備投資を推進し、安全に運行できる環境を整えるため、流山市鉄道安全輸送設備事業補助金を支出し支援します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	まちづくり推進課	11,987		11,987		706	7,594	0	7,594
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
	鉄道設備更新率(%)	-	14.0	22.9	便利だと感じている駅利用者の割合(%)	74.5	74.0	75.0	
	※累計								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的に補助金を支出しました。				・現状 流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいます。					
・評価 踏切設備や通信ケーブル等の保安設備等の修繕が一部完了し、輸送安全性が向上しました。				・課題 鉄道設備の更新工事等について支援が必要です。					
・課題に対する改善点 鉄道設備の更新工事等が実施されました。				・取組 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的な補助金の支出に努めます。					

地域公共交通ネットワークの充実

ぐりーんバス運行事業		鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
まちづくり推進課	89,993		95,962		2,821	90,915	0	90,915
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
利用促進啓発活動回数(お散歩マップ・自治会回覧)(回)	-	-	1	流山ぐりーんバスの年間利用者数(人)		832,370	965,002	965,000
				収支率全ルート平均(%)		56.3	58.0	62.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山ぐりーんバスの運行を継続させるため、運賃を改定しました。遅延が発生している西初石ルートを変更しました。収支率が運行継続基準を下回っていた美田・駒木台ルートの変更を検討しました。				・現状 令和6年4月1日から運転手に対して適用が開始される「働き方改革関連法」を踏まえた労働基準法の改正により、全6ルートにおいて4月のダイヤ改正により減便になります。定時性を確保するため4月から美田・駒木台ルートを変更します。				
・評価 増大する運行経費に対応するため、運賃改定により安定した収入を確保し、運行継続に努めました。西初石ルートは、ルート変更により遅延が解消されました。美田・駒木台ルートは、収支率を改善するため、変更運行計画を作成しました。				・課題 運行継続基準である収支率55%以上となるよう利用者数の動向を注視する必要があります。				
・課題に対する改善点 運賃改定にあたっては、地域公共交通活性化協議会において議論を重ねたうえで、パブリックコメント及びアンケートを実施しました。美田・駒木台ルートの収支率改善に向け、地域公共交通活性化協議会及び地元自治会等と協議し、十分な検討を行いました。				・取組 運行継続基準である収支率55%に満たないルートについては、ルート変更等の需要確保策を検討します。				

地域公共交通ネットワークの充実

地域公共交通活性化事業	地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするとともに、持続可能な公共交通網を形成するため地域公共交通計画を策定し、市内公共交通を持続可能な交通体系へと発展させていきます。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
まちづくり推進課	13,048		25,546		9,873	35,024	0	35,024
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)	8	10	8	公共交通に満足している市民の割合(%)		83.9	81.0	82.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 高齢者が免許証を自主返納した後の公共交通利用に係る助成制度を検討しました。公共交通検討地域等において、移動支援に関する福祉施策等と連携を図るとともに、新たな交通手段の導入について市民と協働で検討を進めました。				・現状 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を実施しています。公共交通検討地域等において、代替交通の検討を進めています。東初石及び西初石の民間路線バス(京成バス流01、02)が12月に廃止となる予定です。				
・評価 マタニティタクシー利用助成制度を開始し、妊産婦の移動に関する不安の軽減に努めました。高齢者免許返納一時金制度を導入し、運転免許証の自主返納と公共交通の利用促進を図りました。公共交通検討地域等において、地域住民とともにアンケート調査を実施し、地域の特性の把握と分析を進めました。				・課題 各制度の申請を電子化や、分かりやすいリーフレットの作成等、制度対象者に合わせた環境づくりが必要です。民間バス路線廃止後の代替交通の検討について、早期に方向性を示すことが必要です。				
・課題に対する改善点 母子健康手帳の交付に合わせてマタニティタクシー利用助成制度の案内を配布することにより、制度の周知に努めました。高齢者免許返納一時金制度を利用しやすいよう、各出張所で申請の受付を可能にしました。公共交通検討地域等におけるアンケート調査では、アンケート作成や配布・回収を地域と役割分担し効率的に実施しました。				・取組 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続します。廃止が予定されている民間路線バス(京成バス流01、02)については、運行経費を補助することで12月まで運行を継続するとともに、その他の公共交通検討地域等の新たな公共交通導入について具体的な交通手段の検討を進めます。				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課）※1 R2より国の耐震化率の算定に合わせ、棟単位から戸数単位に変更し、算出した数値	93.2(※1)	93.2(※1)	93.2(※1)	%	↑
住宅の空き家率	住宅総数のうち、一時居住用や販売用等を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」）※1：2018(H30)年度	3.2(※1)	3.2(※1)	3.2(※1)	%	↓

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 地域住民が安心して住み続けられるよう、生活環境に深刻な影響が懸念される管理不十分な空き家の改善を図るため、所有者等を特定し助言・指導に努めました。また、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行い、建物の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図りました。	・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。
・評価 新たな流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の改善工事等を計画的に行い、建築物の耐久性・安全性の向上と長寿命化を図りました。	・課題 適切な時期に修繕及び改善等を実施するためにも、建物等の点検を随時実施し、点検結果等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。空き家対策については市民や空家所有者等に対し、継続的に空き家問題の意識啓発が必要になります。
・改善点 令和6年度以降の流山市公営住宅等長寿命化計画の策定を行い、計画的に改善工事等を行えるようになりました。	・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。また、市内の管理不全空家等の解消にも努め、地域住民が安心して住み続けられる環境の確保に努めます。

住生活の安定と向上

市営住宅整備事業	安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算
建築住宅課	17,864		15,010		2,821		15,004
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
市営住宅管理戸数(戸)	449	449	449				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地1・2号棟の受水槽の取替工事を行いました。				・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。			
・評価 計画的に改善工事等を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しました。				・課題 市営住宅の状況等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。			
・課題に対する改善点 令和6年度以降の流山市公営住宅等長寿命化計画の策定を行いました。				・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地3号棟の屋上防水工事を行います。			

空き家対策の推進

空き家対策事業	適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算
建築住宅課	0		0		2,116		0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
空き家問題に関する通報件数(件)	82	93	80	空き家に対する改善指導件数(件)		41	74
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 市内にある管理不全空家等の解消に努め、市民への空家問題の意識啓発を行いました。				・現状 空家等対策計画に沿って取り組みを進めています。			
・評価 情報提供があった93件の空家等に対し、現地調査を行うとともに、管理不全の空家等74件に改善指導や助言を行い、42件が改善されました。				・課題 管理不全空家等の発生を抑制・予防します。			
・課題に対する改善点 空家問題の意識啓発に効果的なデザインのリーフレットを作成しました。				・取組 市内の管理不全空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行います。			

空き家対策の推進

高齢者住み替え支援相談事業	高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、相談会の開催やセミナーを開催します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	建築住宅課	47		0	2,116	0	0	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	住み替え相談会開催回数(回)	6	3	-	住み替え相談会参加組数(組)	11	3	-
					住み替え相談の成立件数(件)	-	-	-
	令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 相談者等の希望に応じ、オンラインまたは対面型の相談会を実施しました。				・現状 令和6年度から住宅対策管理事業へ移行します。				
・評価 相談会を3回設けましたが、第1回の参加者が3組、第2回と第3回は参加者がいませんでした。				・課題 令和6年度から住宅対策管理事業へ移行します。				
・課題に対する改善点 相談者が参加しやすいよう、開催場所をおおたかの森ホール会議室やキッコーマンアリーナ会議室としたり、開催曜日を平日から土曜日にするなどの工夫を行いました。				・取組 令和6年度から住宅対策管理事業へ移行します。				

主管部局環境部

施策の目的地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	<R4まで>平成19（2007）年度の排出量を100とした場合の指数<R5以降>計画の改定に伴い基準年度を変更、平成25(2013)年度の排出量を100とした場合の指数 ※上段は民生家庭(2007:165 2013:215)、下段は民生業務。	121 166 (R1年度分)	118 159 (R2年度分)	91 105 (R3年度分)	-	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合（ながれやまちづくり達成度アンケート※H30年度のみ市民意識調査）	27.8	32.0	31.1	%	↓

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 二酸化炭素排出量の削減に向け、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度により多様な手段で取り組みを実施しました。また、市内の空き地の雑草除去推進や不法投棄のパトロール及び回収など市民の生活環境保全を図りました。	・現状 ゼロカーボンシティを目指し、市内最大級の事業者として脱炭素へ強力な取り組みを進めつつ、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度により多様な手段で取り組みを後押ししています。市民の生活環境保全については、市内の空き地の雑草除去推進や不法投棄対策など引き続き実施が必要です。
・評価 補助制度によって二酸化炭素排出量の削減効果は見込まれるものの、対象設備等により実績にはばらつきがあるため、時勢に合わせた補助事業を行う必要があるほか、事業の効果や有用性について検討する必要があります。また、生活環境保全については、空き地の雑草除去に係る市への除去委託制度の認知度増加など様々な施策により、一定の改善は図られたものの、空き地の雑草に対する苦情や不法投棄などは依然として発生している状況です。	・課題 補助制度等の積極的な周知により、二酸化炭素排出量の削減のための取り組みにおける費用負担の軽減を図る必要があるほか、導入後の結果として電力使用量の削減や機器運用の低下によるメリット等を織り交ぜた効果的な周知を行う必要があります。また、市民の生活環境保全に係る苦情対策について、管理が複雑な状況となっています。
・改善点 二酸化炭素排出量の削減に対して市全域で課題感を持つ必要があったため、市民や事業者に脱炭素セミナーを実施したほか、物価高騰対策と併せて民生家庭部門の排出量削減を狙った省エネ家電への買換えに対する補助制度を実施しました。また、市内の敷地に大量に廃棄物が堆積されていた事業について、再三の行政指導及び命令に従わなかったため、行政代執行により廃棄物を撤去し、市民の生活環境の保全に努めました。	・取組内容 ゼロカーボンシティを目指し、まずは市役所が市内最大級の事業者として脱炭素への強力な取り組みを実施して周知するほか、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度の利用など多様な手段で取り組みを後押しします。また、市民の生活環境保全に係る苦情対策について、管理方法の見直しを実施し、苦情対応に係る業務効率化及び市民サービスの向上を図ります。

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策事業	地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。令和5年度から、集合住宅や事業所への太陽光発電設備への補助事業を開始しました。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	環境政策課	38,262		23,720		21,156	31,743	8,850	22,893
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
	地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数(件)	193	210	220	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量(t-CO2)	313	306	347	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 補助制度の作成、周知を行うとともに、有用性やメリット等の周知を行い、補助制度の啓発に努めました。				・現状 2050年度二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指すため、市全域で脱炭素の取り組みを推進します。					
・評価 太陽光発電設備の導入をはじめとして想定数に近い補助金の申請があり、一定の効果を得ることができました。				・課題 補助制度及び各種取り組みの有用性や効果等について、さらなる周知が必要です。					
・課題に対する改善点 補助制度の周知にさまざまな媒体を活用したほか、まちづくり顧問による市民・事業者向けのセミナーを実施し、専門家からの周知を行いました。				・取組 時勢にあった補助制度の作成を続ける他、市民や事業者に対して省エネ・創エネ設備等の導入におけるメリットを効果的に働きかけ、市全域での省エネ性能の向上に努めます。					

生活環境の保全

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業	路上喫煙等を防止し、環境美化を推進するため、路上喫煙防止重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	環境政策課	10,276		9,606		1,189	10,943	290	10,653
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	路上喫煙等防止指導件数(件)	190	166	200	路上喫煙等防止過料件数(件)		123	113	80
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 ポイ捨てが酷い箇所等について、これ以上悪化しないようパトロール強化、当該箇所を立ち入り不可とすること等、関係各課と協力し対策を実施しました。				・現状 路上喫煙及びポイ捨ては引き続き確認されている状況のため、路上喫煙防止重点区域でのパトロールを実施します。					
・評価 様々な対策を行ったことで一定の抑止効果は見受けられたものの、依然として路上喫煙やポイ捨てが多い状況です。				・課題 乗り換え駅である南流山駅周辺では、特に市外の方の路上喫煙の割合が多く、またポイ捨ても依然として多い傾向にあります。					
・課題に対する改善点 路上喫煙やポイ捨てが酷い箇所である南流山駅周辺について、注意文書の掲示やバリケードの設置、パトロールを重点的に実施する期間を設けるなどの対応を行いました。				・取組 南流山駅周辺など路上喫煙及びポイ捨てが酷い箇所について、これ以上悪化しないよう関係各課や民間事業者等と協力し、立ち入り不可の方策や禁止行為の周知啓発対策を検討します。					

主管部局 環境部 施策の目的 ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	813	795	770	g	↓
資源化率	資源化率の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	27.6	28.7	27.2	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 指定ごみ袋と生ごみ肥料化処理器購入補助金制度の導入による効果等について、データや表現等を工夫しわかりやすく広報し、リサイクル率の向上及びごみの減量・資源化を推進しました。ごみ焼却施設の整備については、基幹的設備改良工事及び定期点検整備の調整を密に行い、適切な運転管理に努めるとともに、一部のごみ処理を外部委託して、安定した廃棄物処理を確保しました。	・現状 令和6年度から事業系廃棄物の受入基準の見直しに基づき、事業系一般廃棄物の減量・資源化の啓発に努めます。ごみ焼却施設の整備については、基幹的設備改良工事及び定期点検整備の調整を密に行い、適切な運転管理に努めるとともに、一部のごみ処理を外部委託して、安定した廃棄物処理を確保します。
・評価 指定ごみ袋や生ごみ肥料化処理器購入補助金制度、ごみ分別アプリなどにより、ごみ分別及び減量・資源化を促進し、家庭系ごみの排出量の削減に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工した基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努めました。	・課題 事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発が必要です。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。
・改善点 指定ごみ袋完全導入後の令和4年度の家庭から排出されたごみの量が、導入前の令和3年度から減少したことについて、広報ながれやまにおいて記事を掲載しました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工した基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保に努めました。	・取組内容 事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めます。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。

ごみの減量化・資源化の推進

ごみ減量・資源化事業	ごみの減量、分別促進を図るため、指定ごみ袋やごみ分別アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察などを実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	クリーンセンター	570		464		9,454	654	0	654
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	ガレージセール実施回数(回)	-	1	3	1人1日当たりのごみ発生量(g/1人・日) ※値はそれぞれ前年度の数値を使用		795	770	784
ごみ出前講座回数(回)	5	7	8	資源化率(%) ※値はそれぞれ前年度の数値を使用		28.7	27.2	22.0	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 施設見学や広報ながれやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別アプリの利用促進を図り、周知を行いました。				・現状 施設見学や広報ながれやまの特集号、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別アプリの利用促進やごみ出前講座を図り、周知を行います。					
・評価 施設見学や広報ながれやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別促進アプリやごみ出前講座を通じて、より広く周知に努めました。				・課題 ごみ分別促進アプリやごみ出前講座の制度をより広く周知することが必要です。					
・課題に対する改善点 自治会未加入者や新たに転入してきた市民にもわかりやすく伝えるため、施設見学や広報ながれやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別促進アプリやごみ出前講座を通じて、より広く周知に努めました。				・取組 広報ながれやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、減量等推進委員会議等を通じ、ごみ分別促進アプリやごみ出前講座の制度の周知に努めます。					

ごみの減量化・資源化の推進

リサイクル推進事業	集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やごみ減量化促進ポスターコンクールの開催及び各種講座等を開催します。また、生ごみ肥料化処理器による生ごみの減量化及び再資源化を図るとともに、購入者に費用の一部を補助します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	クリーンセンター	248, 763		177, 032	9, 454	221, 239	1, 287	219, 952
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	リサイクル団体登録数(団体)	254	254	256	集団回収量 (t)	8, 540. 13	8, 202. 00	9, 300. 00
リサイクル講座(教室)開催数(回)	68	52	70	リサイクル講座(教室)の参加者数(人)		561	438	700
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 資源物回収や生ごみ肥料化処理器についてわかりやすい広報を行うことで、ごみの減量・資源化の促進を図りました。				・現状 資源回収率は平成31年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えている中で、さらなるごみの減量・資源化の促進に努める必要があると捉えています。				
・評価 資源化率は、平成31年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えており、広報等を通じ、ごみの減量・資源化の促進に努めました。				・課題 資源回収について、よりわかりやすい資料や説明が必要だと捉えています。				
・課題に対する改善点 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」作成にあたり、生ごみ肥料化処理器の記事を掲載するなど、わかりやすい広報に努めました。				・取組 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」などを利用し、資源化や資源回収についてより詳細にわかりやすく啓発していきます。				

ごみの減量化・資源化の推進

ごみ収集事業	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集を業務委託し、ごみを適正に処理することによって、市民一人一人が衛生的な中で生活が営むことができる環境づくりに努めます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	クリーンセンター	340, 501		337, 183		9, 454	322, 036	322, 036	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					1人1日当たりのごみ発生量 (g/1人・日) ※実績値は前年度の数値を使用		795	770	784
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 「流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」を刷新し、令和6年3月から市民への配布を行いました。				・現状 令和6年度から事業系廃棄物の受入基準の見直しを行い、事業系一般廃棄物の減量・資源化の啓発に努めます。					
・評価 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」を作成し、令和6年3月から、自治会等を通じて市民に配布しました。				・課題 事業系廃棄物の受入基準の見直しについて、事業者に丁寧な説明が必要だと捉えています。					
・課題に対する改善点 転入した新たな市民などにごみの分別などをわかりやすく啓発するため、令和6年度版の「家庭ごみの正しい分け方・出し方」のページ数を従来の倍にするなど、内容の充実やわかりやすい記事の掲載などの工夫に努めました。				・取組 事業系廃棄物の見直しに関わるお問合せダイヤルを設置するなど、事業者への丁寧な対応に努めます。					

一般廃棄物の適正処理

ごみ焼却施設整備事業	ごみ焼却施設の安全操業と適正な廃棄物処理を継続するため、設備の定期的な点検整備を実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	クリーンセンター	530, 000		569, 690		10, 578	440, 000	0	440, 000
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	修繕費用(千円)	89, 379	66, 932	10, 000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		-	-	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 ごみ焼却施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。				・現状 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。					
・評価 定期点検整備及び修繕業務を適正に実施したことで、安全かつ安定したごみ処理を実施することができました。				・課題 令和5年度から着工している延命化整備と並行して定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、延命化整備と運転管理に係る調整を密に図る必要があります。					
・課題に対する改善点 ごみ焼却施設の老朽化による設備・機器類の状況を見極め、今後の延命化等の整備計画都の調整を図り、適切な整備を実施しました。				・取組 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。					

一般廃棄物の適正処理

廃棄物処理施設延命化事業	平成16年2月竣工のごみ焼却施設の延命化を図るため、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	クリーンセンター	2, 159, 971		1, 943, 974		21, 156	3, 611, 454	3, 604, 428	7, 026
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況(%)	-	27. 0	72. 1	CO2排出量の削減率(%)		-	2. 39	6. 39
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事を実施しました。					・現状 長寿命化総合計画に基づき基幹的設備改良工事を実施することで、施設の延命化を図ります。				
・評価 工事の進捗及び基幹的設備改良工事による効果として二酸化炭素排出量5%以上の削減とともに工程どおりに工事を実施しました。					・課題 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備と運転管理に係る調整を密に図る必要があります。				
・課題に対する改善点 安全かつ安定した運転管理を実施しながら円滑な工事進捗を図れるよう、延命化整備と定期点検整備の工程や運転管理との調整を図りながら工事を実施しました。					・取組 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めます。				

一般廃棄物の適正処理

一般廃棄物処理基本計画策定事業	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行います。									
	担当課		R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与と費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
	クリーンセンター		0		0	0	11,000	0	11,000	
	主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年度は事業の実施はありませんでした。					・現状 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて現計画を平成31年3月に策定しており、環境省の「ごみ処理基本計画策定指針」では概ね5年ごとに改定することとされています。					
・評価 令和5年度は事業の実施はありませんでした。					・課題 近年頻発する大規模な自然災害にて発生する災害廃棄物の処理について、見直しを行うにあたっては地勢を鑑みながら策定する必要があります。					
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施はありませんでした。					・取組 現計画で設定した中間目標の達成に向けて実施した個別施策の達成状況を評価し、長期的・総合的視点に立った計画の策定に努めます。					